

庄内町立幼稚園の今後の方針検討委員会 第4回意見聴取

Q. 全体を通してご意見等ありましたら、ご自由に記載ください。

- ◆ 本田委員の意見がとても素晴らしいと感じました。入園する子ども、その保護者、そこで働く先生、全ての人にとって理想的な環境ができるチャンスだと思います。ぜひ今後に活かしてほしいです。また、このような検討委員会に参加させていただき、ありがとうございました。色々な意見や話し方を聞くことができ、勉強になりました。
- ◆ 教育委員会の考え方①で将来的にという表現だと ③の13年度で町立を閉じた後が何もなくなることになり 少なくとも14年までには開園としなければいけないのではないかという点です 考え方については以上です 認定子ども園を小学校の敷地内にという意見がありました その考え方も有力な選択肢として 議論を加速させ 未来に誇れる 名実ともに 他に誇れる教育環境の構築を進めていただければ うれしく思います 保育園の先生や町立の幼稚園の先生方の今後についても十分に配慮されるべきだと意見を聞き強く感じました 会に参加し 検討会に参加できたことをうれしく思います ありがとうございました
- ◆ (1)幼稚園と保育園の良さを併せ持った認定子ども園という仕組みについては保護者のニーズには合致していると感じる。ただ町立幼稚園が培ってきた4.5歳への教育や関わり方は、保護者から見ても大変勉強にもなり、子どもの成長に大きく関与している。その観点から町立の先生方が関わる子ども園(公立で公務員でという話もありましたが)であって欲しいと強く思う。 (2)設置場所はもちろん学童と隣接されたものを強く要望する。議論を二転させてでも、この機会を逃さないでいただきたい。新園への移行時期についても、場所問題を差し置いて妥協してもらいたくない。一部の園を休園するなど時間を掛けてでも、小学校学童の敷地内、または新地の確保をしてどうかバラバラとならないようにお願いしたい。既存の園を利用したものは位置関係が非常に不便で、統合により余計に遠くなる送迎の観点では保護者のニーズから外れている。(3)(2)でも言ったように、設置場所は、学童隣接はマストだと考えるので、これがクリアされるまで町立の幼稚園の継続時期にこだわることはして欲しくない。一方で一部の少人数の園を吸収するなどの動きや、設備の老朽化に伴う小規模な改修や改善で園児の快適性(特に冬季間の対策で、1休園のタイミングで断熱窓や温水設備などの小規模なもの)を保つことは、園の意見や実態に応じて必要だと考える。
- ◆ 今後の進め方や認定こども園のあり方については、子育て応援課が主担当となり検討されるわけですが、現在、町が提供できていない3歳児の幼児教育及び4歳5歳児の保育サービスの充実が少しでも早く実現されることを願っています。待ったなしの少子化対策が求められている中、役場の都合などで優先すべき順位を誤らないように、子どもたちや保護者の支援を最優先にした施設や体制を構築していただきたい。

庄内町立幼稚園の今後のあり方検討委員会 第4回意見聴取

- ◆ 連続性のある教育の重要性が指摘される中、同じ東北の福島県には全国で唯一の認定こども園～小学校～中学校までの義務教育一貫校があり、0歳から15歳までの育ちの連続性の中で学べる大変素晴らしい環境の学校があります。しかも公立学校(町立)です。これは一つの例ですが、町の教育のあり方を根本から整え、子どもたちの育ちを長期的な視点で支える絶好の機会であったのに、保育園児と幼稚園児の住み分け問題のレベルではなく、その先の小学校(理想を言えば中学校)までの一体的な教育の流れを分断したまま統合に向けた議論や施設の整備が進められてしまった結果、その機会は失われてしまいました。町としてどのような教育ビジョンを掲げるのか、もう少し広い視野で追求できていたら、もっと様々な可能性があったのではないかと思います。幼小連携を大事にしてきて、これだけ実績や成果もある庄内町なので尚更、その点が残念というか、非常にもったいなかつたと思います。とは言え、住み分けをしてしまった今までの経緯があるので、実際すべて一体的に考え進めるのは困難であることも十分理解しています。整備するまでには大変な労力がかかると思いますが、今育っている子どもたち、これから庄内町で育つ子どもたちのために今後も宜しくお願ひ致します。
- ◆もちろんそういう措置はなされると思うが、4歳の子たちは、どうしたいか、保護者の方に聞き取りを行った上で、休園閉園措置をとってほしい。できれば早い時期に。ずっとこのさきどうなるんだろうという不安を抱えたまま子育てするのはしんどい。また、聞き取りの時は、どういう選択肢があるのかも提示した上でお願ひしたい。小さい子を抱えて1から考えるのは本当にしんどい。長かったのか短かったのか、初めてこういった会議に参加し、教育委員会の方々、先生たち、教育に携わる大人、保護者の思いに触れることができてとてもいい機会でした。時代の移り変わりと共に、必要とされるモノ・コトが急速に変化していく中、大きな決断だったかと思います。庄内町の、未来ある子どもたち、またこれから産まれてくる子たちの為、またその保護者の為にも、より良い教育を担う町であって欲しいと強く願います。大変お世話になりました。どうぞ皆様方もお身体ご自愛いただきつつ、これから会議等、がんばってください！どんな教育機関が出来上がるか、楽しみにしています！！
- ◆ 教育委員会事務局案の(1)にある認定こども園は町立にして下さい。そして、新小学校学童敷地に幼稚園も新設できそうですね。可能性がゼロではないはずですので、町立としての認定こども園ができる事を願っています。教育は人なり…現在の幼稚園職員が存分に幼稚園教諭の力を発揮できる場を作るべきです。新設までは時間がかかるとなれば新設開園までは、第4、第3幼稚園を休園(閉園)して第1、第2幼稚園に統合してほしいです。認定こども園にしていくことで安易に民間委託にならないように強く望みます。会議でも申しましたが、会議の中で話し合われたことはしっかりと記録として残し、情報開示するべきだと感じています。会議の透明性と教育に対する情熱を教育長さんははじめ事務局の方々には望みます。今回の会議に参加し教育に対しての熱い思いが事務局さんから感じられなかったのは非常に残念でたまりません。行政と教育の壁を感じました。庄内町の児童教育が衰退することなく、職員もさらに切磋琢磨しつつ子ども達の健やかな成長を促す素晴らしい教育ができますよう陰ながら応援しております。

庄内町立幼稚園の今後のあり方検討委員会 第4回意見聴取

- ◆ 3回の検討委員会を通して、まずはこれまで町立幼稚園で大事にしてきた子ども達への熱い思いや保護者支援、幼保小連携等々を理解して下さっている方が多かったという事を知り大変感激しました。それと同時に今後もその思いや熱意を絶やしてはいけないという責任も湧いてきました。これまで教育委員会と共に子ども達の育ちをスムーズに小学校へとつないできた事を、子育て応援課に移管後も同じようにできる仕組み作りの確立を切に願います。今後新設されるであろう認定こども園は、これまで通り町立として責任を持って運営し、民間の施設と共に保育の質を互いに高め合う関係でなければなりません。一社独占ではそれは難しいのではないかでしょうか。財政は厳しいと思いますが、庄内町の大事な子ども達の人生が豊かで幸せなものとなるように大人である私達が責任と愛情と熱意を持って道筋を示していかなければなりません。今がその分岐点なのだと思います。これまで話し合われた3回の検討会の内容やアンケート等は今後にしっかりと生かしていってほしいと思います。(特に新小学校近くにこども園ができる事は皆さん一致の願いでもありました。)
- ◆ 前回の「教育委員会の考え方について(案)R8.1.20」の(3)の内容に閉園や休園措置の文字はあるが少子化に伴い「統合」もあり得るのでしょうか?途中他の委員さんから意見として出されたがそのことについて返答がなかったので、すぐに、「閉園」または「休園措置」という印象が残り、心配になりました。